

## ほゆう

## 会報 3月号

平成 27 年 (2015) 3 月 通算 251 号  
 発行 / 北総歩こう会 ・ 〒277-0841  
 柏市あけぼの 2-9-20 B902  
 TEL&FAX 04-7145-1620



## 行事の案内板

お願い◆北総歩こう会の行事に参加される方は お弁当を出発前に必ずご用意ください

◆荒天、災害、積雪、交通機関の事故等、行事の中止が予想される時には別途ご案内の通り、必ず確認をしてから参加をしてください。(平成27年1月号3ページ:インフォメーションをご覧ください)

★4月例会 桜紀行・白井から手賀沼湖畔へ 15km (コースリーダー 筒井寿一)

《千葉県 54 ウォーク 白井市・柏市・我孫子市》

日時 / 4月5日(日) 9時30分 団体歩行 参加費 / CWA 加盟団体無料・その他 300円

集合 / 七次第一公園 (北総線 西白井駅 徒歩8分)

解散 / 14時30分頃 湖北台中央公園 (JR成田線 湖北駅 徒歩5分)

コース / 七次第一公園～所沢市民の森～昔の村を結ぶ折立の道標～氏神社～鳥見神社～東光院～今井の桜～手賀の丘公園(昼食)～手賀沼湖畔～湖北台中央公園

○みどころ 桜を訪ねて下総の國北総地区を昔の村人・馬が通った歩きたくなるみち・心癒されるみち・遍路道をのんびりゆったり歩きます。もちろん今井の桜・手賀の丘公園・手賀沼湖畔を見学します。

集合地点七次第一公園の前に「西白井複合センター」にてWC……ファミリーマート・マルエツ・ウエルシアにて弁当の用意を必ずしてください。

★4月特別行事 ウォーキングステーション (増尾城址公園コース) 10km (コースリーダー 安国正夫)

《千葉県 54 ウォーク 柏市》

日時 / 4月17日(金) 9時00分 団体歩行 参加費 / JWA・CWA 加盟団体 200円・その他 260円

集合 / そごう柏店正面入口前 (JR常磐線・東武線 柏駅東口 徒歩1分)

解散 / 13時00分頃 そごう柏店正面入口前 (JR常磐線・東武線 柏駅東口 徒歩1分)

コース / そごう柏店正面入口前～柏ふるさと公園～北千葉導水ビジターセンター～刈込坂～増尾城址公園～柏レイソルグラウンド～そごう柏店正面入口前

○みどころ 手賀沼湖畔からの風景に心が癒され、戸張地区の柏の原風景の中を歩き、サッカー試合の時レイソルの応援が市内に響く柏レイソルグラウンドの横を通ります。

★4月特別行事 第12回大正浪漫ウォーク in 手賀沼 30/20/10/7km

＜美しい日本の歩きたくなるみち 500選 千葉 12-1＞

《千葉県 54 ウォーク 我孫子市・柏市・印西市・白井市》

日時 / 4月29日(祝) 8時～受付 自由歩行: 30/20km

9時～受付 自由歩行: 10km / 団体歩行: 7km

集合・解散 / 手賀沼公園 (JR常磐線 我孫子駅南口 徒歩10分) ※案内人有り

ゴール時間 / 12時00分～16時00分 (最終ゴールは16時迄です)

参加費 / 事前 400円 (4月17日締切)

当日 700円 (我孫子市・柏市・流山市・野田市・松戸市の各市民は 500円)

※当日参加の場合、記念品等がなくなることが有りますので事前申込をお願い致します。

コース / 7km 手賀沼公園をスタートし、手賀沼遊歩道を歩いて、500選の道を経て手賀沼公園に戻ります。

(7km: 団体歩行 10/20/30km: 自由歩行になります)

10km 手賀沼公園をスタート、杉村楚人冠記念館、白樺文学館、志賀直哉邸跡など大正浪漫を感じながら、500選のみちを歩いて、手賀大橋を渡って手賀沼自然ふれあい緑道を歩き、柏ふるさ

と公園～北柏ふるさと公園を経て手賀沼公園に帰ってきます。

20km 手賀沼公園をスタート、10kmコースの若松交差点から時計廻りに手賀沼遊歩道を歩いて、曙橋から手賀の丘公園を歩き、手賀沼自然ふれあい緑道に戻り、道の駅しょうなんで10kmコースに合流します。

30km 20kmコースの曙橋から手賀川、下手賀沼を歩いて手賀の丘公園で20kmに合流をします。

**○みどころ** 大正から昭和初期に「北の鎌倉」と称され、白樺派の文士や嘉納治五郎などの文化人が居宅や別荘を構えたことで知られる我孫子・手賀沼界隈。手賀沼八景を含む風光明媚な眺めと水鳥の楽園を巡る手賀沼周遊遊歩道と我孫子の文学・歴史を訪ねる道を歩きます。また、30kmコースは江戸時代には繋がっていた下手賀沼も歩きます。今年は10kmコースの自由歩行が新設されましたのでお楽しみください。

◆事前申し込みを受け付け中です。詳細は「第12回大正浪漫ウォーク in 手賀沼」チラシをご覧ください。

★5月平日ウォーク 総州六阿弥陀堂巡拝② 12km (コースリーダー 石井信次)

《千葉県54ウォーク 我孫子市》

日時／5月6日(水)9時10分 団体歩行 参加費／北総歩100円・CWA加盟団体200円・その他300円

集合／布佐1号公園(JR成田線 布佐駅東口 徒歩3分)

解散／14時00分頃 布佐1号公園(JR成田線 布佐駅東口 徒歩3分)

コース／布佐1号公園～第1番・徳満寺(WC)～供養所・瑞光寺(廃寺)～利根町公民館(WC)～懺悔所・念佛院(廃寺)～柳田記念公苑～四季の丘第2公園(昼食・WC)～布川神社～納経所・来見寺～第6番・勢至堂(不動堂)～赤松宗旦旧居～栄橋～布佐1号公園

**○みどころ** 昨年は総州六阿弥陀堂巡拝①を歩きました。①の場合、我孫子と印西を参拝しましたので、②では利根町の残りを参拝するも、その寺さえ消滅してしまって石塔が何本か残っている場所に行きます。江戸時代末期200年ほど前を思い出して下さい。

★5月例会 県境の町を歩く「千葉：川間から埼玉：南桜井へ」17km (コースリーダー 和田武年)

《千葉県54ウォーク 野田市》

日時／5月9日(土)9時00分 団体歩行 参加費／CWA加盟団体無料・その他300円

集合／川間駅北口駅前広場(東武野田線 川間駅 徒歩0分)

解散／16時00分頃 南桜井駅北口広場(東武野田線 南桜井駅)

コース／川間駅～清泰寺～関宿滑空場～関宿中央ターミナル(昼食・WC)～道の駅庄和総合公園(WC)～南桜井駅

**○みどころ** 江戸時代初期に作られた江戸川の東側に千葉県野田市関宿の東宝珠花、そして西側に埼玉県春日部市庄和の西宝珠花と言う地名が現存しております。ひとつの村が分断された歴史を偲びましょう。

★5月特別行事 ウオーキングステーション(布施弁天コース)16km (コースリーダー 軍地恒四郎)

《千葉県54ウォーク 柏市・我孫子市》

日時／5月30日(土)9時00分 A班(自由歩行)・B班(団体歩行)

参加費／JWA・CWA加盟団体200円・その他260円

集合／そごう柏店正面入口前(JR常磐線・東武線 柏駅東口 徒歩1分)

解散／集合場所に戻る A班(自由歩行)11時30分～13時(受付)・B班(団体歩行)14時00分頃

コース／そごう柏店正面前(スタート)～北柏ふるさと公園～手賀沼公園～イトーヨーカ堂～あけぼの山農業公園～布施弁天～あけぼの山公園～木崎橋～そごう柏店正面前(ゴール)

**○みどころ** 関東三弁天の一つ・布施弁天(紅龍山東海寺)を巡ります。多宝塔式の鐘楼や楼門はいずれも千葉県指定重要文化財。境内にはぴんころ地蔵も有ります。

ウォーキング初心者の方、体力に合わせ短い距離を歩きたい方にお勧めです。



## 北総いきいきウォーク

ウォーキングの基本を学び、歩く楽しさが味わえて仲間ができます。

会費／会員無料(月例会等参加票提出)・会員以外300円(傷害福祉制度加入)

※中学生以下無料、小学生以下保護者同伴をお願いします。

※事前申し込みは不要です。当日、直接集合場所に歩ける服装、靴でおいでください。

### ☆4月4日(土) 小林牧場の桜を観賞 約7km (担当 石井信次)

集合:JR成田線 小林駅 徒歩2分 ジョピア駐車場 9時00分

解散:JR成田線 小林駅 徒歩6分 浅間山公園 11時45分頃

### ☆5月16日(土) 荒川沿線散策のバラと旧古河庭園 約8km (担当 山口浩子)

集合:JR常磐線 南千住駅西口どなう広場 午前9時00分(南千住駅西口 徒歩2分)

解散:旧古河庭園(京浜東北線 上中里駅 徒歩7分) 12時00分頃

※旧古河庭園入園料が必要です。20名以上の団体一般及び中学生120円、65歳以上50円



北総歩こう会の情報

## インフォメーション

### ●IVV及び完歩証の件でお詫び申し上げます。会長 中村義久

この度は総会ウオーク「一茶が歩いた小金道を歩く」にご参加いただきまして有難うございました。

その際当然お渡しすべき完歩証・IVVを当会の手違いで用意できず大変ご迷惑をお掛けし誠に申し訳ございませんでした。完歩証・IVVとも作り直しをしましたので次回の北総いきいきウオーク(3/21)、平日ウオーク(3/25)、例会(3/29)の際にお渡しさせていただきます。尚、参加できない方はご連絡を頂ければ郵送させていただきます。このようなことが今後なきよう役員全員で注意し運用する次第でございます。

これからも例会、平日ウオーク、いきいきウオークへのご参加をお待ち申し上げます。

### ●北総歩こう会定期総会が開催されました

平成27年2月21日(土) 流山市生涯学習センターにて「平成27年度定期総会」が開催されました。

詳細および結果は本号3ページ下段をご覧ください。

### ●H27年2月に入会された方のご紹介 ★先輩の皆さん よろしくお願ひします。

柏市 宮本久義さん ※(ほゆう1月号)に掲載しました。12月入会の井口瑛夫さんの名前(誤:井口暎雄さん)が間違っておりました。お詫びし訂正申し上げます。)

### ●平日ウオーク完歩者表彰

2月4日(水)平日ウオークで表彰されました。おめでとうございませう。

50回 北総歩 稲葉清一郎さん	30回 北総歩 布施一巳さん	30回 北総歩 鈴木栄次郎さん
10回 北総歩 高田愛子さん	10回 ちば歩 行木秀明さん	10回 ちば歩 山田三男さん



## 『平成27年度定期総会を開催』

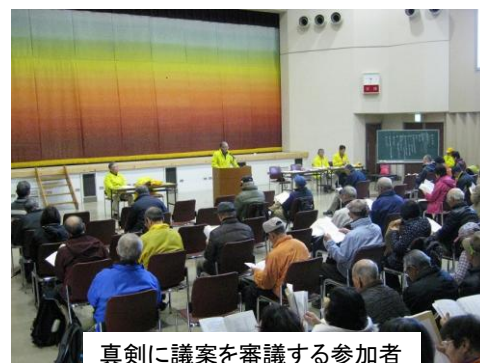
(文責:竹淵房夫)

2月21日(土)に北総歩こう会平成27年度定期総会が流山市生涯学習センターで開催されました。9時30分に吉田氏の司会で開始、会長挨拶の中で、2期4年務めた中山会長より今回退任し、新会長として中村義久氏にバトンタッチする旨の発言が有り、参加者の皆さんからあたたかい拍手を受けました。議長に軍地氏が選出され、書記に竹淵氏を指名、本日の参加者は98名と報告がありました。



新人理事3名の自己紹介

1号議案から6号議案まで活発に審議され採択されました。総会議事終了後、新会長挨拶、新役員紹介が有り、今回理事として承認されました新役員、平野利夫氏・森 廣氏・染谷 勇氏の3名が中村新会長から紹介され、各氏の新任挨拶が有りました。表彰式では年間完歩者表彰、例会等参加距離認定表彰が行われました。総会終了後、昼食をして午後からは総会ウオークが行われました。



真剣に議案を審議する参加者

## 会長就任のご挨拶

中村 義久

この度中山会長のご退任により、第23回定期総会でご承認を頂き、第6代目の会長に就任する事になりました。歴代の優秀なる会長方々が築き上げたこの会を、執行部の若返りの流れの中で、図らずも何の取得もない私が会長を仰せつかったという感じですが。

前任中山会長は、当会発足の時からの役員であり、そのうち10年間を事務局長、4年間を会長とまさに当会の生き字引的な方でありました。それにご存じのとおり人柄良く、懐深く、皆からの信望も大変厚く、後任としては辛いところです。

ところで私が北総歩こう会に入会したのは、ウォーキング大会に行った旅先で前々任の市川会長と同室になり、同じ我孫子の住民ということで入会を勧められたのがきっかけでした。

その時に思ったのは地元の歩こう会であれば、歩ける限り何時までも付き合えるということです。私がやるべきことは「北総歩こう会」を何時までも皆が付き合える会として、継続・発展させて行く事と思っています。その為には高齢化が進み健康志向が高まる現在、健康寿命延伸に役立ち参加しやすい企画を実行すること、マナーの向上を図り他から好かれる会にすること、コミュニケーションの良い参加しやすい会にすること、会員以外にも北総の良さを知って貰い、惹いては会員増強につながるようにする等々を実行して行きたいと考えています。行き届かぬこと多々あると思いますが、皆様のご支援よろしくお願いいたします。



## 会長退任のご挨拶

中山 弘

会員の皆様には、日ごろ北総歩こう会の活動にご協力いただき心から感謝申し上げます。

このたび総会の役員改選でご承認いただき、2期4年間の会長職を退任させていただきましたことになりました。会員の皆様と役員の方々にささえられて何とか務めさせていただきましたが過ぎてしまえばアツと言うまででした。任期内の大きなイベントとしては北総歩こう会20周年記念行事も盛会に行うことができました。また年間の最大行事である大正浪漫ウォークも毎年順調に開催されております。この行事では多数の会員の力をお借りして成立しております。ここで改めて協力員の皆様にお礼申し上げます。25年度からはそごう柏店の協力によりウォーキングステーションも開設されマイペースで歩けるコースが多くの方に喜ばれています。相変わらず役員が不足(特に女性)しておりますが、新しく会長を引き受けていただきました中村さんを中心に多くの首脳役員がいわゆる戦後生まれと大分若返っており北総歩の明るい未来を担って参ります。どうぞこれまで以上にご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



平成27年1月24日 特別行事

## 『忠敬江戸入り4DAY3日目団体歩行』を担当して

コースリーダー 中村 義久

今回のコース設定について、CWAの運営総括担当者よりコース設定を依頼されたのは昨年9月20日だった。9月末までのコース案の提出と、前年は17キロと距離が長かったので今回は短めにとの依頼であった。



手賀沼自然ふれあい緑道を進む参加者

時間は余り無かったが、スタート地点は例年のごとく手賀沼公園であるので、ゴール地点をどこにするかを考えた。当初、新柏も考えたがこれでは距離が12キロ位で短い。南柏なら14キロ超あり丁度良いと判断し、担当のY氏と9月23日に第1回目の下見に行った。柏ふるさと大橋から増尾城跡公園までは、昨年開設した柏そごうWSTの10キロコースの宣伝を兼ねそのルートを利用した。昼食は昨年同様に中原ふれあい防災公園として、途中で酒井根合戦場跡の見学を入れゴールを南柏の稲荷神社とした。いつも苦勞するトイレが所要所にあるのでコース設定は意外と楽であった。第2回目の下見は開催日間近の1月18日に担

当者4名で出かけ、安全性を配慮し若干ルートの手直しを行った。当日は、自由歩行の受付等もあるので手賀沼公園に朝7時前に行き、8時半まで、38キロ歩行者のスタートを見送った。その時点では団体歩行者は30名程度しかおらず、天気予報は晴れではあるが気温の低い予報だったので、参加者も少ないのかとの懸念もあった。ところがスタート時点では108名となり昨年(105名)並みの参加者となり、本行事のファン層の厚さを感じた。

コースについては、まずまずの評価も頂いたが、団体歩行ではそれぞれの歩行スピードが違うので、早いと言われたり遅いと言われたりしたが、コースタイムの設定に基づき歩き、ゴールの稲荷神社には予定より10分早い13時30分に到着した。(歩行中は曇りであったが、解散式後は良い天気となった。残念！)

もし人数が少なかったら、南柏駅約1キロ手前の柏市の史跡で明治の初め頃まで使われていた「今谷刑場跡」の見学も考えていたが、今回は人数も多かったので次の機会とした。3日目団体歩行を事故なく無事終えることが出来たことは、参加者の皆様及びCWA並び北総役員の皆様の協力と感謝申し上げます。

(担当 石原洋二・筒井寿一・遠藤啓一・安国正夫)



平成 27 年 2 月 4 日 平日ウオーク

## 樹仙・伊藤伊兵衛政武のこと

—植木の里からお墓の町へ・染井の掃苔を担当して— コースリーダー 石原洋二

染井といえば、染井吉野。植木の里、染井吉野桜の発祥の地である。その染井吉野の里にある西福寺に、樹仙・伊藤伊兵衛の墓があり、今回の「染井の掃苔」で訪れた。

「染井の伊藤伊兵衛は、駒込・巣鴨の園芸を代表する草分け的存在で、江戸第一の植木屋とその名声が高かった。代々伊兵衛を名乗ったが、元禄・享保期に活躍した三之丞・政武父子がとくに知られている。」

「この三之丞・政武の登場によって、染井の地が園芸センターとして発展していく基礎がつけられた。」

「伊兵衛の屋敷は、現在のほぼ専修院の場所にあたる。」「駒込・巣鴨地域は江戸中期から明治期にかけて、おそらく日本で最大の植木・花卉の生産地であった。」「この植木の里からは技量にすぐれたたくさん植木屋が輩出した。」「今日桜の代表品種となっているソメイヨシノは幕末あるいは明治の初め頃から染井の植木屋がひろめたといわれている。」以上(豊島区郷土資料館調査報告書 1985)からの引用。

もと伊藤家は伊勢津藩藤堂家に出入して城内の庭樹の世話をしていたが、藤堂家が駒込村染井に移ったため伊兵衛一家も染井に居を構えるようになる。3代目三之丞はツツジ・サツキの新種開発普及に努め、『花壇地錦抄』を著し、4代目政武は父の研究をさらに深め、一連の『地錦抄』ものを著すとともにカエデの開発普及に努め、翻紅軒、樹仙を名乗った。同業者とともにこの地の園芸発展に尽力し、染井の名を世間に広く知らしめるものとなった。その庭園は約6000坪といわれ、随所に地植えや鉢植の植物が配され、躑躅はもとより唐楓などの栽培種の見本園的性格を兼ね備えたものであったという。そんな政武を8代将軍吉宗が最良にし、御用植木師として活躍した。[宝暦七年(1757)・81歳で没]

広辞苑によれば、【掃苔】(そうたい)とは[墓石の苔(こけ)を掃き清める意]墓参り。特に、盂蘭盆(うらぼん)の墓参をいう。墓掃除。[季]秋。

今回の掃苔は、染井。「谷中の掃苔」に続き、掃苔シリーズの2回目である。前回の谷中が好評であったので、勢い込んで準備をしたが、参加者154名と贅沢をいえば天気の割には少なかったのが残念である。テーマが「墓」なので、捗々しくなかったのかな・・・。

染井霊園は、もと上駒込の建部邸跡地を東京府が引き継ぎ、明治7年、染井墓地として開設。昭和10年名称を染井霊園と改め、現在に至る。(コース担当：山口浩子・早川 進)



樹仙・伊藤伊兵衛の墓



平成 27 年 2 月 21 日 例会ウオーク

## 『一茶が歩いた小金道(総会ウオーク)』を担当して

コースリーダー 中村 義久

今回はリーダーと言っても名前だけのリーダーでした。コースの設定から、地図の印刷すべてを地元の和田さんをお願いしてしまいました。和田さんは下見5回、私は2回行っただけです。やった事と言えば、行事名を考えた事と出発時間をいつもより早く12時30分にしてゴールを15時30分にしたぐらいです。

今回の企画の発端は、歩けの大先輩である小林一茶の第2のふるさとが我々の身近な場所である東葛地区(北

総のテリトリー)であること、一茶が俳諧の道に入ったきっかけが馬橋にあったらしいこと、馬橋の地名の由来などを、参加される皆様に知って貰いたかったからです。それに一茶双樹記念館が数か月かけて現地踏査して、流山から馬橋に至る道のおよそ8割が江戸時代当時の道であることを知りロマンを感じた事も一因です。(今回配付の地図は、一茶双樹記念館指定管理者の株式会社グリーンダイナミクス様のご好意により作成いたしました。)

第1回目の下見は昨年(2019年)の10月8日に担当3人で行きました。歩いてみると確かに馬車程度しか通れない道幅の道も多く、道すがらには耳だれ地蔵、熊野神社、おびしゃで有名な雷神社、女体神社、正福寺、JR時代の古い隧道、東漸寺等々見所多数でこれは良いコースになるなと確信しました。

当日は天気良かった事と、一茶のお蔭で、例年ですと総会後のウォーク参加者は、会員を中心に100名程度ですが、今回は一般参加の方も多く133名と沢山の方に参加して頂きました。見所も多く列もだいぶ長くなりましたが、角々に誘導員を立て迷子にならないようにしました。

最後に馬橋の橋のそばの空き地で解散式をしたわけですが、そこにはわざわざCWAの片山会長がご多用にもかかわらずお越し頂き、ご挨拶を頂きました。

さて、今日も無事終わった、IVVと完歩証をお渡しして解散と思った矢先、女性役員からIVVと完歩証が無いことを告げられ愕然としました。情けない気持ちで参加者の皆様にお詫びしお許しを頂きました。本当にご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。リーダー失格でしたが、誰一人責めることなく、歩く仲間の寛大な気持ちに只々感謝の気持ちで胸が一杯になりました。(コース担当 和田武年・若月慎爾)



流山市生涯学習センターを出発

## 歩く道みち



### 100番目に登った御嶽山

流山市 会員 和田武年

2007年(H19)8/18~19、私はこの山にいた。先日、9/27(土)の正午近くに噴火して多くの方が災害に遭われたとの報道に胸が痛む。悪天候の日の夜間であれば、こんなに多くの方の犠牲が出なかったと思うと実に悔しい。私が登った7年前を地球の歴史から考えれば一瞬の違いで、私が災害に遭わなかっただけである。

御嶽山噴火の報道に、改めて自分の登山日記を読み返してみた。王滝登山口の田ノ原山荘から出発して八丁ダルミを抜けて、御嶽頂上山荘に1泊した。翌朝の御来光を参拝して下り、三ノ池から黒沢口に降りている。

深田久弥百名山に挑戦していて、選んだ訳ではないが御嶽山が偶然、最後の山になった。その登山日記には、「今年は8月の初めから晴天が続いて、早く登頂したくてやきもきしながらその日を待った。神社のある頂上からの素晴らしい御来光とパノラマが待っていてくれた。我々の下山する時間帯は登ってくる人とのすれ違いが多くて小学生か、それよりもっと小さい子供連れもいる。白装束に御幣を持っていたり、金剛杖を持っていて『六根清浄』と唱えながら登ってくるので、我々登山者はよそ者の感じで気が引ける。三ノ池の池畔にも像と祠が祀られていて、池の水はご神水だという。昔、女人はここまでしか入れなかったと言う女人堂周辺にも、多数の石仏(と表現して良いのか?)が見られる。正に文化遺産である。意識せず偶然に百名山最後の山になった御嶽山が、このように良い山だった事を嬉しく思い神に感謝している。」と書かれていた。

10/4(H26)の朝刊によると47の方が亡くなられて、安否不明者が16人いる可能性あるとの報道である。捜索関係者(警察・消防・自衛隊)の安全を願い、ご苦労に感謝し、亡くなられた方々のご冥福を祈る<合掌>。(H26.10.04記)

◆この原稿は平成26年10月に寄稿されたものです。(紙面の都合で掲載時期が遅くなりました)歩楽人

【編集後記】総会が無事に終わりました。世間では新社会人、新入生と新たな人生のスタートの季節です。北総歩でも新役員が3名選任され、新執行部も発足しました。皆さんに協力を頂きながら先輩たちが創立、そして発展させてきた北総歩こう会を更に皆さんに愛され、多くの皆さんに参加して頂き、喜んで頂ける企画、行事を準備していきたいと思っております。皆さんの忌憚のないお声をお待ちしております。 <歩楽人>



選擇所より御嶽山を望む